

# 各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

## 「縁桂森林(えんかつらもりもり)フェスティバル」を開催



【檜山森林管理署】



9月23日、乙部町の「縁桂風景林」で「縁桂森林フェスティバル」が開催されました。

縁桂は「巨樹・巨木100選」に選定されている樹齢500年、高さ40メートル、幹の周囲が最大で6.1メートルあるカツラの太木です。隣り合う2本の木から伸びた枝が地上7メートルのところでは結合し、縁結びの神様が宿るとされています。

女性は右側の木に、男性は左側の木に触れると縁が結ばれると、言われています。縁桂前では、乙部八幡神社の宮司による神事が行われ、参加者は幹に触れて良縁を祈っていました。

## 「職場体験プログラム」を実施



【留萌南部森林管理署】



林野庁では、大学生等を対象に、就業意識の醸成、森林・林業、国有林野事業に対する理解を深めてもらうことを目的に就業体験実習（インターン）を実施しています。

留萌南部森林管理署は9月の4日間、東京の大学生1名を受け入れました。

実習生の希望を踏まえ、高性能林業機械、GPS測量、ドローン飛行とそのデータの活用など先進的な林業の体験、また治山事業や林道事業の実際の現場を多く体験できるようなカリキュラムを作成し実施しました。

## リモコン草刈機実演会を開催



【渡島森林管理署】



9月6日、森町の鳥崎国有林において渡島総合振興局東部森林室と共同で、下刈りの低コスト化や省力化に向け、「低コスト造林に向けたリモコン草刈機実演会」を開催しました。

当日は、森林管理署、北海道、近隣の市町村、森林組合及び林業事業者などのほか、一般の方も含め総勢87名の参加があり、参加者がリモコン草刈機の操作を行い、操作性を体感しました。

実用に懐疑的な意見も出されましたが、導入に興味を持ち納期を確認する林業事業者もあるなど、多くの反応をいただきました。

## アイヌ共用林野における林産物(ヤナギの枝)の採取



【日高南部森林管理署】



新ひだか町と当署は、「アイヌの人々の誇りが尊重される社会を実現するための施策の推進に関する法律」に基づくアイヌ共用林野設定契約を締結しています。9月4日に新ひだか町三石国有林において、三石アイヌ協会による初めてのヤナギの枝の採取に協力しました。

祭具（イナウ）に適したヤナギの枝には様々な条件がありましたが、必要な枝を無事に採取することができました。採取されたヤナギの枝は、イナウとして、9月19日に日高町で執り行われた儀式に使用されました。

広報 「北の森林 国有林」10月号

発行 林野庁北海道森林管理局

編集 総務企画部 企画課

〒064-8537

札幌市中央区宮の森3条7丁目70

電話 011-622-5213

HP <https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/>

## 【ホオノキとヤマガラ】

ホオノキは朴葉味噌など、食材を包めるくらい大きな葉が特徴です。

秋に実る真っ赤な種子は、ヤマガラをはじめ野鳥たちの貴重な食糧です。



今月の表紙